

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 石川 義治

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和3年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和3年度予算について	<p>【趣旨説明】</p> <p>令和2年1月15日、国内で初めて感染が確認された新型コロナウイルス感染症は、ようやく2月17日、医療従事者からワクチン接種がはじまりました。先行きについては、感染の収束が期待されていますが、景気停滞の長期化が懸念されています。</p> <p>このような状況下において、昨年10月5日に、靄山町長から「令和3年度予算編成方針」が示されました。予算編成方針では、健全で持続可能な財政運営を確保しつつ、第6次総合計画を基軸とし、各種施策の実現に向けた取組みを進めていくと、示されています。そして、今議会において、本町の新年度一般会計予算案が提出されています。一般会計予算案は過去最大となる162億700万円、前年度予算額と比較し、20億3,700万円、率にして14.4%の増加となっています。</p> <p>地方公共団体は、その事務を処理するにあたっては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければなりません。コロナ禍での歳入不足が想定される中、中長期的な視野もしっかり考えるとともに大災害などへの備えも不可欠であると考えます。その上で、特にどのようなことに重点をおかれたのか、住民にわかりやすく、示していくことが重要です。</p> <p>私共、政和クラブでは、昨年10月6日、靄山町長宛に、「令和3年度 政和クラブ予算要望書」を提出させていただきました。要望書は、72項目の「重点課題」、136項目の「各課予算要望」となっています。要望を通し、幅広い住民の声を予算編成に反映していただきたいと考えています。</p> <p>以上を踏まえ、以下2点の質問をします。</p>
	<p>【質問事項】</p> <p>① 令和3年度予算について、第6次武豊町総合計画で掲げるまちの将来像「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」の実現に向け、どのようなことを重点施策として予算編成されたのか。</p> <p>② 「令和3年度 政和クラブ予算要望書」の中で、令和3年度予算案に反映された項目は。</p>

武豊町議会議員 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 石川 義治

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和3年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
2. 行政のデジタル化について	<p>【趣旨説明】</p> <p>行政のデジタル化について、菅総理は、昨年9月の就任後、「行政の縦割りを打破し、大胆に規制改革を断行します。そのための突破口として、デジタル庁を創設いたします。この新たな組織の創設により、国、自治体のシステムの統一・標準化を行うこと、マイナンバーカードの普及促進を一気呵成に進め、各種給付の迅速化やスマホによる行政手続きのオンライン化を行うこと、民間や準公共部門のデジタル化を支援するとともに、オンライン診療やデジタル教育などの規制緩和を行うことなど、国民が当たり前前に望んでいるサービスを実現し、デジタル化の利便性を実感できる社会をつくっていきたいと考えます。」と発言されました。</p> <p>また、今回のコロナ禍の中で、テレワークや、オンライン申請、マイナンバーカードによる給付等、世の中のデジタル化は一気に進み、大きな社会変革をもたらしました。</p> <p>改めて、行政手続のデジタル化を進める必要性を痛感したのは、行政も、住民も同じではないでしょうか。</p> <p>デジタル化は、単なる業務のICT化とは異なり、行政運営の効率化に加え、住民サービスの充実に繋がるものであると言われていています。</p> <p>新たな「第6次武豊町総合計画」においても、まちの課題として、施設(ハード)のみならず、サービス(ソフト)施策についても、従来の考え方の枠にとらわれることなく、またRPA、人工知能(AI)等の仕組みを導入し、業務の効率化も図りながら、合理的で効果的なサービス提供を展開していく必要があります。と謳っているように、デジタル化の必要性についても十分認識されているものと考えています。</p> <p>今後、デジタル化の推進は、武豊町がよりいっそう住み続けたいまち、新たな定住先として選択されるまちとなり、そして、総合計画に掲げるまちの将来像である「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」に繋がる重要な施策であると考えます。</p> <p>しかし、デジタル化の推進にあたっては、住民サービスの向上や、職員の業務の効率化などの観点で、具体的な目標を設定し、組織、業務、システムの改革を統合して進めていくこととなります。また、既存の業務内容や組織体制に囚われずに、新しいまちの在り方を構想として描き、それに向けて改革を推進していく大きなプロジェクトになると思われまます。</p> <p>このためには、町長を先頭に、町幹部の皆さんがデジタル化に取り組む強い意思を持ち、体制に反映されることも必要であると考えます。</p> <p>これらのことから、今後、必ず必要となる行政のデジタル化に向け、他の自治体に先駆けて早い段階から体制を整え、準備する必要があることから、以下4点の質問をします。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①本町では、行政のデジタル化の推進についてどのように考えているか。</p> <p>②本町における、デジタル化の取組はどのような現状か。</p> <p>③デジタル化を所管する担当課はどこになるか。</p> <p>④デジタル化に対する、現在の国・県の動向はどのような状況か。</p>

